

## 山口大学大学院 東アジア研究科 学位論文審査基準

1. 創造性 従来の説を十分に理解したうえで、新しい論点、仮説、証明方法が付加されており、その新規性について自覚的に表現できていて、当該研究テーマあるいは関連研究分野への貢献が明確であること。
2. 論理性 適正な論証手続きに基づいて仮説を検証するなど、一貫性のある展開から結論が導かれていること。
3. 厳格性 先行研究が十分に渉猟咀嚼されていること。あるいは／さらに証明資料・方法が厳格に用いられていること。
4. 発展性 未完成であったり、既存研究の‘常識’には反したりするが、将来大きく発展する可能性のある論点や研究枠組み・視野・方法等が萌芽的に提示されていること。

(補足：論文博士取得に関する目安)

### 1. 学歴・職歴：

- ・ 博士後期課程満期退学、もしくは、博士後期課程入学後 3 年以内に大学等研究機関において助手以上の職位に採用された方
- ・ 修士課程修了後、大学等研究機関において 20 年以上の研究歴がある方

### 2. 業績：

生涯学術論文が 10 本以上あり、かつ提出する学位論文が、構成する章（序章・終章を除く）が 5 章以上ある学術単著に相当するものであること

- \* うち、1 章以上が「全国的な学会誌」（日本学術会議協力学術研究団体）・「国際的なジャーナル」の機関誌に掲載されたことがあるもの。